

専門課程シラバス

授業科目	臨床看護技術(経過別看護)		担当者	高原 美智子		実務経験	○(専任教員)
開講時期	1年前期・後期	授業の方法	講義	単位数	1	時間数	30
授業概要	人間の健康レベルの変動に伴う経過別看護について、急性期、回復期、慢性期、終末期における身体的、精神的、社会的特徴と、その状況に応じた、援助方法を習得する。						
授業計画	<p>1・2 経過別看護とは</p> <p>3・4 急性期にある患者の看護(急性期にある患者の特徴、急性期看護の特徴と看護)</p> <p>5・6 急性期にある患者の看護(患者の回復を促す患者援助)</p> <p>7・8 周手術期の看護(周手術期の看護の特徴)</p> <p>9・10 周手術期の看護(術前の看護)</p> <p>11・12周手術期の看護(術中・術後の看護)</p> <p>13・14 回復期にある患者の看護(回復期にある患者の特徴、患者の回復を促す看護)</p> <p>15・16 回復期にある患者の看護(障害を持ちながら生活する人を支援する看護)</p> <p>17・18 慢性期にある患者の看護(慢性期にある患者の特徴)</p> <p>19・20 慢性期にある患者の看護(患者の自己管理、セルフケアを促す看護)</p> <p>21・22 慢性期にある患者の看護(慢性期にある患者とその家族の看護)</p> <p>23・24 終末期にある患者の看護(終末期にある患者の特徴、終末期医療の現状)</p> <p>25・26 終末期にある患者の看護(終末期における看護師の役割と機能)</p> <p>27・28終末期にある患者の看護(終末期にある患者の心理的プロセスと苦痛緩和の援助)</p> <p>29・30 経過別に見た看護</p> <p>終講試験</p>						
テキスト参考文献	臨床看護学叢書2 経過別看護メジカルフレンド社 第2版 第13刷 2022						
成績評価の方法	筆記試験(90%)、レポート提出、グループワークおよび演習の参加態度等 10%で総合的に評価する。						